

令和4年10月～12月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関
堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数 DI 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所 800 社（建設業 200 社・製造業 200 社・卸売業 100 社・小売業 100 社・サービス業 200 社）
3. 調査期間 令和 4 年 12 月 15 日（木）～令和 5 年 1 月 6 日（金）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率	
	建設業	200 社	100 社	50.0%
	製造業	200 社	101 社	50.5%
	卸売業	100 社	50 社	50.0%
	小売業	100 社	50 社	50.0%
	サービス業	200 社	103 社	51.5%
	全産業	800 社	404 社	50.5%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- DI 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別の DI 値の意味について】

- 業況判断 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … DI 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … DI 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(10月～12月期)の前年同期比を見ると、業況判断DI、売上高DI、採算DIは改善、資金繰りDIは2期連続でやや改善、雇用人員DIが悪化となった。

来期(1月～3月期)の予測については、採算DI、雇用人員DIは改善、業況判断DIはやや改善、売上高DIは2期連続で悪化、資金繰りDIはやや悪化している。

数値の推移としては、前年同期比は全体的に前回調査より改善した部分が多いものの、改善の度合いは業種ごとに差がある状態となっている。また、雇用人員DIが悪化している業種が多く、市内事業所の業況は未だに予断を許さない状態である。

新型コロナウイルス感染症の水際対策が一部再び強化されるなど状況も急変しており、いまだにコロナ禍収束に向けた見通しが立たないことから、引き続き市内企業の動向については、注視していく必要がある。

1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 19.9 \Rightarrow \Delta 16.3$)

・来期見通しの指標はやや改善と予測。
($\Delta 16.3 \Rightarrow \Delta 13.9$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、製造業は2期連続で改善、卸売業、小売業はやや改善、サービス業は横ばい。

・前年同期比の指標は改善。



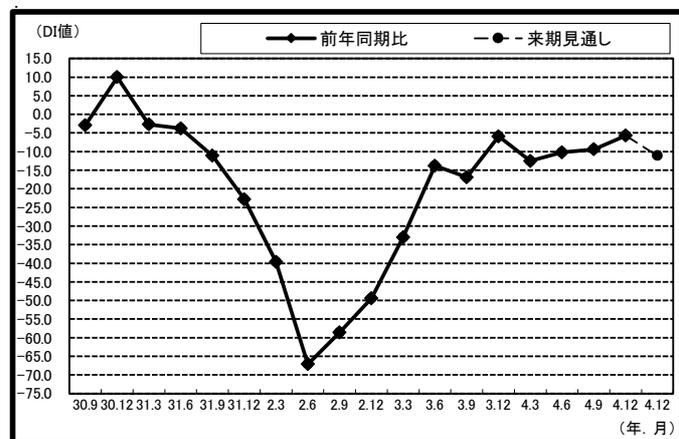
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 9.4 \Rightarrow \Delta 5.7$)

・来期見通しの指標は2期連続で悪化と予測。
($\Delta 5.7 \Rightarrow \Delta 11.1$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、卸売業、小売業は改善、製造業は横ばい、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。



3. 採算の動向

・前年同期比の指標は改善。
($\Delta 17.1 \Rightarrow \Delta 13.9$)

・来期見通しの指標は改善と予測。
($\Delta 13.9 \Rightarrow \Delta 10.6$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、
建設業、卸売業、小売業は改善、製造業、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は改善。



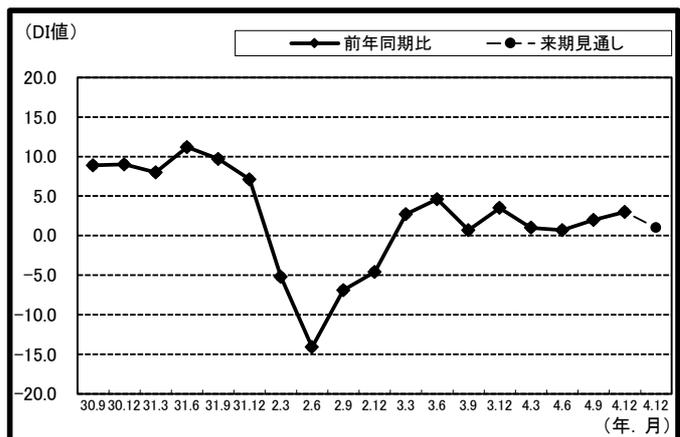
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は2期連続でやや改善。
($2.0 \Rightarrow 3.0$)

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。
($3.0 \Rightarrow 1.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、
建設業、小売業は改善、製造業はやや改善、卸売業は横ばい、サービス業はやや悪化。

・前年同期比の指標は2期連続でやや改善。



5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は悪化。
($0.5 \Rightarrow \Delta 6.7$)

・来期見通しの指標は改善と予測。
($\Delta 6.7 \Rightarrow \Delta 2.0$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、
卸売業は改善、建設業は2期連続で悪化、製造業、小売業、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。

